

吾妻山の火山活動解説資料

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

5 月 16 日に実施した現地調査の結果、5 月 6 日に確認した大穴火口の噴気孔周辺の硫黄の燃焼による高温域は認められませんでした。

噴気活動はやや高まった状態が続いており、火山性地震はやや多い状況が続いています。

吾妻山の噴火警戒レベルは 1（平常）が継続しています。予報警報事項に変更はありませんが、火口内では噴気、火山ガスの噴出がみられますので警戒が必要です。また、大穴火口周辺のくぼ地や風下側でも火山ガスに注意が必要です。

○噴気及び地表面の状況

5 月 16 日に仙台管区気象台が実施した現地調査の結果、5 月 6 日に確認した大穴火口の噴気孔周辺の硫黄の燃焼による青白い煙及び局所的な高温域は認められませんでした。また、7 日以降 16 日までの遠望カメラ（大穴火口の東北東約 14km に設置）による観測では、夜間の発光も確認されていません。

噴気の高さは 5 月 10 日及び 16 日に 300m を観測するなど、噴気活動はやや高まった状態が続いています。

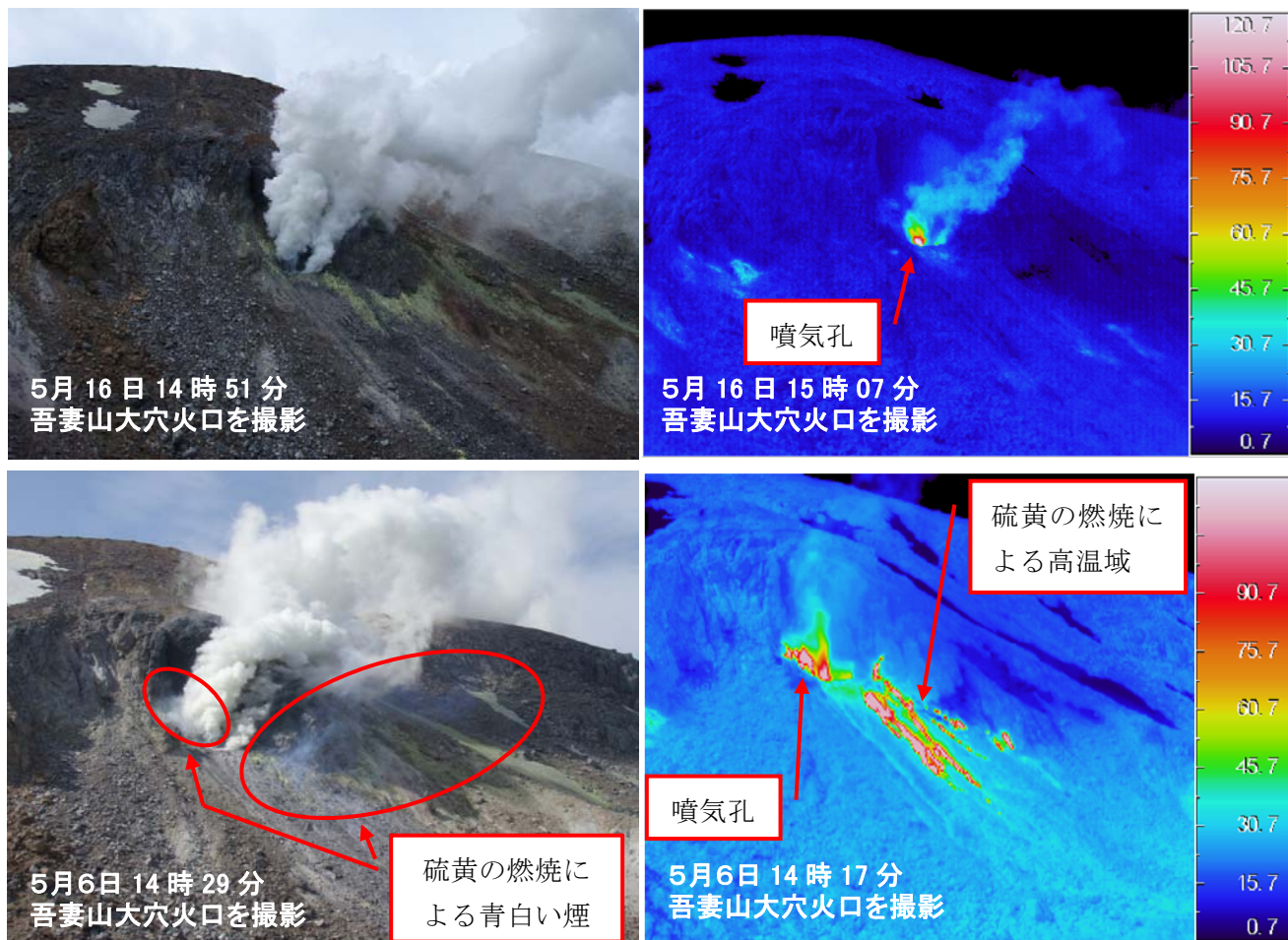


図 1 吾妻山大穴火口の可視画像（左）と地表面温度分布（右）

上段：2010 年 5 月 16 日撮影

下段：2010 年 5 月 6 日撮影

○地震や微動の発生状況

5 月 4 日に火山性微動が観測されましたが、その後は観測されていません。火山性地震は 2009 年 10 月以降やや多い状況が続いています。